



# こだま

《生徒の指標》【旭中学校生徒の誓い】

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」旭中生徒会

1. 私たちは、心を込めてあいさつをします。
2. 私たちは、時間を守り、自ら学習に励みます。
3. 私たちは、他人の気持ちを尊重し、助け合います。
4. 私たちは、進んで働きます。
5. 私たちは、社会のルールを守り、自信をもって生き抜きます。

[学校ホームページ](#)に行事の写真をたくさん掲載しているのでぜひご覧ください。

令和6年8月30日 文責：東原定雄

## ひまわりのように大きく成長してください！

8月29日（木）の1校時に、体育館で全校集会を行い、校長の話として次のようなことを生徒たちに伝えました。

「皆さんには、私の身長以上に大きく育ち、約1400個の種を实らせたひまわりのように成長してほしい。パリオリンピックで活躍したアスリートも、最初是一粒の種だった。大きな花を咲かせるまでには、いろいろな物語があったことだろう。これから行われる文化祭、合唱コンクールや学級での生活、勉強、部活動などで、世界の旭中にふさわしい、素晴らしい物語が生まれ、一人一人が成長することを期待している。」

保護者・地域の皆様には、心に太陽をもって成長しようとする生徒たちを、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。



## 関東中学校体育大会で旭魂を発揮

本校生徒が三つの種目で関東大会に出場しました。裏面のインタビューをお読みください。



## 少年の主張発表河宇地区大会で最優秀賞 旭中から2年連続！

8月23日（金）に、3年生の島崎彩葉さんが県少年の主張発表河宇地区大会に出場し、「カラフルな脳」と題した主張で最優秀賞に輝きました。

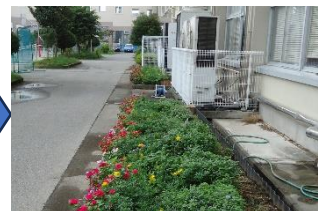
島崎さんは、自閉症の兄の生活を通して障がい者への理解を深めようとした主張を発表し、聴衆の心を打ちました。9月21日には地区代表として県大会に出場します。

## 部活動ごとの除草作業で、校庭はきれいな状態を保っています。

昨年度は、夏休み最後の土曜日にPTA研修・環境整備部を中心とした親子奉仕作業で、授業再開に向けた環境整備を行っていただきました。今年度は、部活動ごとに日と場所を決めて少しずつ除草作業を



去年の親子奉仕活動時



今年の様子(8/28)

行ったところ、校庭は概ねきれいな状態を保っています。暑い中、除草作業をした生徒たちに大感謝です。生徒の手で気持ちのよい環境を作り上げていくのは、旭中のよいところです。今後、研修・環境整備部の皆様には、生徒が作業できなかった部分の除草作業でお世話になります。

## 関東大会に出場した生徒へのインタビュー

関東大会に出場した三つの部を代表して、6人の生徒にインタビューしました。他の部活動の皆さんにも参考になる、重みのある言葉を聞くことができました。

### 女子弓道部

和氣一花さん(写真右)、  
中尾彩恵さん(写真左)  
(ともに3年生)



関東大会出場のため、和氣さんは自分の射の癖をなくし、正しい射となるよう心掛け、中尾さんは自分で鏡を見たり友達に見てもらったりして射形を調整することを心掛けていたそうです。

関東大会に出場して、中尾さんは行こうと思っていたが行けると思っていなかったののでうれしかった。緊張もあったが楽しかったとのこと。和氣さんも行けると思っていなかったののでうれしかった。緊張したが明治神宮で引けたことがうれしかったと感想を教えてくださいました。

後輩に伝えたいこととして、和氣さんは全国出場に向け自分の射を目指してほしい、中尾さんはあきらめてほしくない。みんな頑張っているのだから、あきらめずにやってほしい!とエールを送ってくれました。

### 剣道部女子

先鋒の植松笑叶さん(写真右)、  
大将の越間心新さん(写真左)(ともに3年生)



関東大会出場を目指し、植松さんは死ぬ気で練習に取り組み、越間さんはいつも試合だと思って最後まで全力で練習に取り組んでいたそうです。

越間さんはレベルの高い関東大会に出場できたのはうれしいけれど、もっと上に行きたかったのが悔しいとの思いを述べ、植松さんは関東大会のレベルが高くびっくりしたが、これまでの練習で、抜かないで100%で練習できればもっと戦えたと感じたとのことでした。

後輩に伝えたいこととして、植松さんは後悔しないように、日々全力で練習し、練習試合などでの反省点を書き留めておくといい、越間さんは関東大会に出場したことを自信にして、もっと上を目指し、全力で練習に取り組んでほしいと語ってくれました。

### 水泳競技部



加藤颯人さん(写真右)  
勝山樹輝さん(写真左)  
(ともに3年生)

加藤さんは関東大会出場のために、0.1秒縮めるため何ができるかを常に考えていたそうです。勝山さんはその日の体の調子や動きを把握し、どんな日もその日の限界を超えるよう頑張ってきたそうです。

勝山さんは、関東大会は一人一人レベルが高く上位に行けなかったが、もっと頑張れたとのこと。加藤さんは、全中に行きたかったのが悔しい、とその思いを伝えてくれました。

後輩に向けて、加藤さんは、気持ちが折れないでやっていけば結果は出る、頑張ってもらいたいと述べ、勝山さんは、自分の体の調子を整えること、特に睡眠が大切だ、と語ってくれました。